

令和7年度
第3弾

生産計画と工程管理

コース番号：004-059

2025年

開催日時：12月15日(月)
9:30~16:30 (6時間)

募集締切：12月1日(月)

開催場所：ポリテクセンター山梨（裏図参照）

定員：16名程度（先着順）

推奨者：中堅層

受講料

3,300円（税込）

コースの狙い

多品種少量化や短期納期化など、顧客の多様なニーズに適した生産計画の策定を目指して、工程管理に必要な視点、生産計画・統制への柔軟な取り組み方について理解し、自社の納期管理を見直していくためのポイントを習得します。

主な訓練内容

◎ 工程管理の考え方

- (1) 生産管理とは
 - ①生産管理の目的
 - ②生産の5要素と3つの流れ、3M
 - ③PDCAサイクル
- (2) 生産の種類と全体像
 - ①個別受注生産と見込生産
 - ②ロット生産、1個流し生産、混流生産
 - ③フローショップ、ジョブショップ、セル生産
 - ④生産管理の全体像
- (3) 工程管理とは
 - ①工程管理の目的
 - ②工程管理の手順
 - ③KPIの必要性
- (4) 進捗管理のポイント
 - ①進捗管理と実績管理
生産の遅れに繋がる問題点の洗い出し【演習】
 - ②生産現場のムダ、ロスとは
 - ③KPIの必要性
- (5) 標準時間と標準工数
 - ①標準時間設定の重要性
 - ②標準時間の設定方法
標準時間の設定の仕方【演習】
 - ③標準時間と標準工数

◎ 生産計画の立案と作成手順

- (1) 個別受注生産の生産管理
 - ①引合管理
 - ②仕様確定と見積管理
 - ③設計作業の計画から出図計画
 - ④内外作の判断
 - ⑤オーダー別小日程計画と製造指示
 - ⑥その他の注意点
- (2) 個別受注生産の生産計画
 - 個別受注生産の日程計画づくり【グループ演習】
 - ①個別受注生産型企業の抱える問題点
 - ②個別受注生産型企業の改善事例
- (3) 見込生産の生産管理
 - ①大日程計画、中日程計画、小日程計画
 - ②資材所要量計画
 - ③製造指示、作業指示
 - ④受注管理と引当管理、出荷管理
 - ⑤サービスパーツの生産
- (4) 在庫管理と生産リードタイム
 - ①在庫が多い企業の特徴
 - ②ジョブショップの弊害
 - ③生産リードタイム短縮による在庫削減の改善事例

○ 訓練内容のココがポイント！

前半は、工程管理のうち進捗管理と実績管理に重点を置き、解説します。また、工程管理をする上で重要な時間管理について、標準時間の設定の仕方を演習を通じて理解を深めます。後半は、個別受注生産と見込生産に分け、それぞれの計画立案の進め方を解説。さらに、実際に現場で起きている問題とその解決実践事例を通じて自社で見直していくためのポイントを習得します。

実施機関 & 講師

一般社団法人
中部産業連盟

委嘱講師 花井 康孝 氏



講師Profile

大型車輛向け部品メーカーで現場・生産管理に従事後、産業団体でIE・標準化研修講師を経験。その後、マネジメントコンサルタントに転身。特に財務分析・戦略に強みを持ち経営者・幹部候補向けの研修やコンサルティングで多数の実績を重ねる。製造現場の生産性向上に加え、財務視点からの経営改善を多数支援。

お申し込みは

※ 当HP内「令和7年度オープンコース第3弾受講者募集のご案内」の下部に、Excel形式で直接必要事項が入力できる「オープンコース第3弾受講申込書」があります。